

千葉県大規模停電と断水、お見舞い申し上げます

## CPAP をお使いの方、 停電災害に備え、マウスピースを併用しよう！

2019年11月

新潟県でも2004年11月に中越地震、2007年3月に中越沖地震を経験して、大規模な停電により在宅でのCPAP治療が継続できないという危機を経験しました。日本歯科大学睡眠歯科センターがある新潟市は幸いにして両地震での被災を免れましたが、関連病院が被災地の柏崎市にあり、そこに通院されている患者が速やかに治療を再開できるよう支援しました（関連記事はぐっすりーぷ2巻5号に掲載されております。過去のぐっすりーぷはHP上ですべてご覧いただくことができます）。

幸いにも柏崎市での被災人口が少なかったため、私たちが対応したCPAP患者の総数は102名でした。被災直後は74%の患者がCPAPを使用できませんでしたが、停電の解消、破損機器の交換、通院支援などで二か月半には10%まで減じることができました。しかしとうとう9名の患者は、他病併発などで治療を継続できなくなってしまいました。また避難所で集団生活を強いられていた患者からマウスピースの要望があり即席のマウスピースで対応を試みましたが、即席では精密さが劣るためまったく使い物になりませんでした。

やはり、災害に備え普段からマウスピースをCPAPに併用しておくのが安心安全です。

